



## 最新機種 細径内視鏡導入しました

胃カメラは苦手、苦しいから受けたくない、そんな思いで胃カメラを躊躇していませんか？現在の上部内視鏡を楽に検査を受ける方法として鎮静剤の使用が挙げられますが、鎮静剤を使用すると、薬の効果により終日車の運転ができません。十勝にお住いの方は、これほど不自由なことはありません。

そこで、内視鏡カメラの径を細くし、しかも高画質、病変の見逃しの無いよう、最高解像度の4Kモニターで観察できるよう、最新の機種を導入しました。

現在、人間ドック、健康診断にいらっしゃる患者様には、細径内視鏡を口から入れ、なるべく体に負担の無い検査を心がけています。

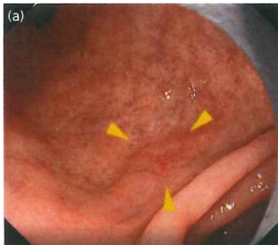
オリンパス  
**GIF-1200N**  
従来の上部内視鏡スコープ  
太さ9.9mm  
↓  
**最新機種**  
細径内視鏡 太さ5.8mm



新しく開発されたCMOSイメージセンサーによりノイズの少ないハイビジョン画質を実現。改良された光学系と、高精度のレンズ組み立て技術の確立により明るさを確保し、微細な血管や粘膜の表面もリアルに再現することが可能となり、正確な診断をサポート。

## 観察性能もグレードアップ

最新機種の「EVIS X1」を導入したことで今までより、より観察性能が向上し、小さな病変・平坦な病変に対応し、早期癌をいち早く検知できるようになりました。



## 消化器内科の応援体制

岸和田徳洲会病院消化器内科、出雲徳洲会病院消化器内科と札幌東徳洲会病院IBD(炎症性腸疾患)センターの応援を受けています。

2018年から岸和田徳洲会病院内視鏡センター長 井上太郎医師と星川聖人医師による早期癌のESD治療(内視鏡的粘膜下層剥離術)を行っています。



消化器内視鏡技師  
監修 大下 まり子

帯広徳洲会病院

〒080-0302 河東郡音更町木野西通14丁目2-1  
TEL(0155)32-3030 FAX(0155)32-3522

急患は24時間体制